

満天 LETTER ～ 7 月号 ・ 七帝戦展望編 ～

目次

展望（男子）

短短・・・1

短長・・・1

中距離・・・2

長距離・・・3

跳躍・・・4

投擲・・・4

展望（女子）

短距離・・・・・・・・5

中・長距離・・・・6

フィールド・・・・6

満天下に関するお詫びと訂正・・・7

その他・・・・・・・・8

七帝戦まであと15日をきりました。今年は九州で、博多の森陸上競技場にて8月4・5日におこなわれます。各大学ほぼ選手も決まり、壮行会もおこなわれ、前にもまして練習に熱がはいるようになりました。以下パートごとに展望をまとめました。

短短

短短パートからは、100m 長野(工 4)、西井(工 3)、脇田 (外 3)、200m 山田(保 3)、山本(工 3)、脇田(外 3)、110mH 後藤(工 1)、安田(理 1)、奥中(経 1)、4×100mR 長野、脇田、山田、山本が出場します。

現時点では、山田、脇田が好調で、好記録を出しており、得点圏内にあり、期待できるどころです。後藤は自己ベストが得点圏内にあり、1年生ということもあり、その勢いで期待もかかるところでう。また、パート全体としても順調であるため、2枚目3枚目の選手もまずまずの記録を残しており、エントリーの段階ではここ数年でも層の総合力の高いものとなっています。なので、4×100mR でも好記録、好結果が期待できると思います。

短短種目に関して、今年はかなりレベルの高いものとなっており、厳しい戦いになると思われませんが、1人1人が力を出し切り、着実に点をとれるようにがんばります。

短長

短長パート男子が出場する 400m・400mH・4×400mR の3種目はいずれも年々着実にレベルアップしており、率直に言って今年度は難しい戦いになると考えられます。しかし「総合優勝」という観点から考えると、最大のライバルと目される京大の選手も他種目ほどは記録を伸ばしておらず、いかに短長として点数を取れるかが肝要だと思われます。

七帝戦の短長種目は決勝進出ラインと 6 位得点ラインがほぼ一致しています。今年度は多くの選手がすでに自己ベスト更新を達成しており、また普段の練習でも複数回走れるような体力づくりを重点的に考えてきました。当日は 1 人でも多くの選手が決勝に進み、得点を稼げたらと切に願っています。

【400m】

鈴木友之(経 4)、秋本耕作(理 2)、高橋勇理(法 4)の 3 名が出場します。鈴木は春先から順調に自己ベストを更新し続け練習も順調に積んでいるので、本番でも決勝に駒を進めてほしいところです。秋本は名阪戦で 49 秒台を記録し、当日もポイントを取ってくれると期待しています。高橋は昨年決勝にすら行けなかった反省を元に、今年は「最低でも表彰台」の気持ちで頑張りたいところです。

【400mH】

奥野晃弘(工 3)、細川雅弘(工 3)、宇畑雄哉(工 1)、高山正浩(工 1)から 3 名が出場します(7 月 21 日現在では確定していません)。400mH 選手は走力とハードル技術の両方が求められており、その分どの選手も自分なりに考えて練習をこなしてきました。奥野・細川の両名はフラットレースにおける走力も伸ばしています。宇畑・高山も受験ブランクを感じさせない攻めの練習が見られ、4 名とも 400mH の記録にも十分期待できます。

【4×400mR】

神谷迪郎(人 4)、鈴木友之(経 4)、原慎二(工 3)、秋本耕作(理 2)、北悠太(法 1)、高橋勇理(法 4)の 6 名でエントリーしました。記録だけ見ればインフレ激しい本種目ですが、大会最終種目であり、また多くの出場選手がすでに複数本レースに出ているため、いかに普段から走り込んできたかが問われる勝負です。当日はアンカーのフィニッシュまで順位が変わり続けると思われませんが、昨年同様、阪大の総合優勝に華を添えられるよう根気を振り絞って戦い抜くつもりです。競技者としてこれほど面白い競技はありませんので、ぜひ応援して頂く皆様もワクワクしながら観戦していただけたら、これほど嬉しいことはありません。

中距離

【800m】

田中(工 2)、松山(工 2)、藤(工 1)が出場します。松山は今シーズン順調に記録を伸ばしており、七帝でも上位をうかがえる存在です。田中も去年の七帝で勝負強さを発揮し決勝進出していますし、今シーズン自己ベストを更新しています。今年もその勝負強さで、決勝に行ってほしいです。藤は高校でのベストが 1'55"48 の実力者です。このように 3 人決勝進出することが十分可能な布陣を組みました。しかし総合優勝を争うであろう京大も 3 枚

決勝にいき、上位を取ることが考えられるので、2本目の決勝でしっかり力を出し切り、複数入賞できるかが鍵となってきます。

長距離

【1500m】

酒井（基4）、大竹（工2）、三根（工1）が出場します。酒井は優勝、大竹と三根は入賞を目指します。酒井と、平井、水元、横山の京大3人が先行し、大竹と三根は第2集団の前でレースを展開するでしょう。京大の中でも平井が酒井の最大の敵ですが、西日本ICで勝っています。大竹と三根はハイペースでつぶれる京大の選手がいれば、下位ではなくさらに上位にはいれます。阪大と京大で上位6人が占められることも考えられ、事前予想では京大12点、阪大9点となっています。唯一強みが重なった種目であり、総合優勝のために少しでも削りとりたいところです。

【5000m】

酒井（基4）の出場は決まっていますが、残り2人は西村（薬4）、有本（基3）、廣畑（経3）の中から選びます。今季1500では酒井に負けている京大の平井（1）ですが、5000は西日本ICで3位（14分45）に入るなど優勝候補です。京大は他にも1500でも上位候補の横山（3）や前年度2位の平井（3）もいます。しかし平井（3）は調子が上がってきていません。九大の中島（2）や名大の矢野（2）にも力はありますが、スピードがないので表彰台には届かないでしょう。それよりも3000SCで優勝候補の東北大の深渡が不気味な存在です。酒井は優勝を目指します。最低でも表彰台は確保したいところです。残念ながら阪大の他の2人は勝負できる位置にはいません。最善を尽くすのみです。

【3000SC】

飯尾（人2）、森田（基2）が出場します。東北大の深渡（3）の3連覇が濃厚であり、東大の瀧澤（3）と渡邊（4）が続きそうです。それ以降は団子状態でその中に飯尾がいます。先日9分38秒の自己ベストを記録しました。故障からの復活であり、闇雲に突っ込んでいた昨年と比べると賢く走れるようになった印象です。オープニング種目で確実に入賞してほしいです。森田は初レースで9分台を記録しました。まだ障害が誰よりも障害があるので練習あるのみです。

跳躍

【走高跳】

吉永（B6）、吉武（工2）、田谷野（工1）が出場します。

ポイントゲッターの滝川が抜けた穴は大きいですが、ランキング4位と5位の吉永と田谷野がしっかり点を取り、得点圏内目の吉武が粘って全員がポイントを獲得できればその穴をカバーできそうです。

【棒高跳】

高橋遼（工4）、細田（工3）、増谷（基2）が出場します。

安定して上位に入る高橋を中心にして、細田がそこへ続き、増谷も確実に点を取っていけば例年のように得点源となり得ます。

【走幅跳】

西田（基4）、中村（工3）、渡辺（工1）が出場します。

西田と渡辺が今シーズンですでに7mを跳び勢いに乗ってきているので、中村もそれに便乗することで近年穴となっていた走幅跳での大量得点が可能となりそうです。

【三段跳】

勢力（B6）、中野（外4）、松崎（工4）が出場します。

昨年・一昨年と快調であった村井がケガのため残念ながら出場できませんが、阪大の三段跳は層が厚いと言われ続けた通りの力を発揮すれば例年通りの大量得点ができます。

投擲

【砲丸投げ】

福井康大（工4）、鶴崎晋也（基3）、徳永卓朗（理3）が出場します。ランキング1位の選手は頭一つ抜けていますが、福井と鶴崎が2、3位はとれる位置にいます。また徳永は、申請記録は低いですが得点圏内に入る実力は十分にあると考えています。

【円盤投げ】

鶴崎晋也（基3）、徳永卓朗（理3）、中澤密（基2）が出場します。昨年に引き続き、円盤投げでは上位2人はとびぬけていてそこを逆転するのは難しいですが、鶴崎と中澤は3、4位をとる実力は十分にあります。また徳永は、今シーズンはじょじょに調子を上げてきているので、得点争いにからんでくるのが期待できます。

【やり投げ】

福井康大（工4）、中澤密（基2）、神田直仁（工1）が出場します。中澤はランキングでは1位であり、本番でも優勝することは間違いないでしょう。神田は今シーズン大幅に自

己ベストを更新してきており、中澤とのワンツーがおおいに期待できます。福井はポイント獲得には大きくベストを更新する必要があります。

【ハンマー投げ】

武藤将大（外4）、崎勘太郎（外2）、布川拓未（工2）が出場します。武藤は怪我からの復帰後、練習では50mにせまる投擲を見せており、満天下記録を更新しての優勝が期待できます。崎も今シーズンには40mをこえる記録を出しており、2位に入る実力はあります。布川は得点ラインギリギリの位置にいますが、他の2人のつくる流れに乗ってポイントをとってくれるでしょう。

女子

短距離

【100m】

岡澤(人2)と牛山(外4)が出場します。今年は阪大女子短距離勢の100mの力が拮抗していましたが、セレクションを勝ち抜いた2人が走ります。岡澤は練習を積み重ね、今年ポイント選手として七帝戦で走ります。課題のスタートを克服して、ベストでポイントを獲得することを期待します。牛山は400mとの兼任になりますが、2年前のように100mでもポイントをとれるよう12秒台を目指します。

【400m】

脇本(文1)と牛山(外4)が出場します。脇本は1年生ながら関西インカレや、西日本インカレ、名阪戦など数々の試合に出場し経験を重ね、徐々に調子を戻しつつあります。高校時代には58秒48を出していますので、本番のタイムに期待大です。牛山も長かった怪我から復帰し、少しずつですが調子を上げてきています。昨年の雪辱を九州で晴らします。両選手ともに今季初の60秒切りで、ワン・ツーフィニッシュを目指します。

【4×100mR】

川守田(外4)、脇本(文1)、馬越(工2)、牛山(外4)でバトンを繋ぎます。毎年優勝を狙える位置にいなから逃してきた種目です。今年こそは表彰台の一番高い所に上がり、満天下記録更新を狙います。春からいっきに調子を上げてきた川守田が良いスタートを切ってくれると思います。脇本は400mだけでなく、今季100mで12秒96を出しており、スプリントの力もあります。馬越はバトンパスの安定感に定評があり、本番も確実にいい位置で牛山にバトンを繋いでくれると思います。

中・長距離

【800m】

平川(人 3)と前田(外 1)が出場します。800m は名大の鈴木(3)、京大の岩橋(4)をはじめ有力な選手が多数出場し、かなりハイレベルで厳しい戦いになるかと思われます。平川は最近自分の納得のいくようなレースができていないようですが、七帝戦に照準を合わせてしっかり練習を積んできています。本番ではベストな走りで上位陣に食らいついてほしいです。前田は高校時代競技から遠ざかっていましたが、大学で再開し、練習を積んできました。大学初の800mのレースとなりますが、攻めの走りを期待します。

【3000m】

浅野(外 3)と藤沢(外 3)が出場します。800mと同様、厳しい戦いになりますが、2人の走りで阪大を大いに盛り上げてくれると期待しています。藤沢は女子の中で1、2を争う努力家です。今まで切れそうで切れなかった11分を七帝戦の舞台で切って、ベストを更新してくれると思います。浅野は怪我などで思うように走れなかった時期もありましたが、本番では同期の藤沢とともにひとつでも上の順位を狙って思いっきり走ってほしいと思います。

フィールド

【幅跳び】

馬越(工 2)、川守田(外 4)が出場します。

馬越は名阪戦において向かい風の中5m台をマークしており、当日もポイントが期待できます。

今回多種目出場となる川守田は春先から徐々に記録を伸ばしており、跳躍も安定しているので何とか決勝に駒を進めたいところです。

現在5m台を記録している選手が6人、またそれに近い選手が3人いるため例年がないレベルの高い争いが繰り広げられることが予想されます。

【走り高跳び】

松村(外 3)、川守田(外 4)が出場します。松村は高跳び専門外でありながらも着実に練習を積んで記録を伸ばしており、ポイント争いに加わるのが期待されます。川守田は実戦不足なものの練習では好記録を出しているため、本番でもしっかり力を発揮することが求められます。厳しい戦いになると思いますが、なんとか1点をもぎ取りに行きたいところです。

【砲丸投げ】

小西(理 3)、川守田(外 4)が出場します。小西は専門種目はやり投げですが、もはや砲丸投

げが専門種目と言っていいほど真剣に取り組み、猛練習を積んでいます。去年から順調に記録も伸ばし、練習でも安定して好記録をマークしているため上位入賞が期待されます。川守田は3種目目となる砲丸まで体力を維持し、4回生の意地を見せてなんとしても点数を取りにいてほしいところです。女子の貴重な得点源であるこの種目では高得点が期待されます。

最後になりましたが、私たち現役部員が不自由なく練習をこなし大会に出場できるのもOB・OGの皆様のご支援のお陰です。本当にありがとうございます。普段の成果を「発表」する機会としても七帝戦ほどいい大会はありません。精一杯尽力して総合優勝4連覇に臨むので、当日は1人でも多くの方々が九州にお越しいただけることを楽しみにしています。今後とも応援・ご支援を何卒よろしくお願いいたします。

OGAC・満天下並びにOB・OG名簿の掲載に関するお詫びと訂正

今年度編集いたしました、OGAC・満天下並びにOB・OG名簿において、掲載に誤りがございました。

〈OGAC・満天下〉

・井津野真也様 (H18 卒)

卒業年 H19 → (訂正) H18

・歌津歩様 (H23 卒)

OB会費を払っていただきましたが、一覧に掲載されておりませんでした。

・亀晃加様 (H23 卒)

OB会費を払っていただきましたが、一覧に掲載されておりませんでした。

〈OB・OG名簿〉

・奥平愛子様 (H20 卒)

今年度の掲載がされておりませんでした。

以上の方々です。不快な思いをされたOB・OG様方、大変申し訳ございませんでした。来年度の編集の際にはこのようなことが起こらないよう、しっかりと引き継ぎをしていきたいと思っております。

また、掲載に誤りがありましたら、以下のアドレスにご連絡頂けると幸いです。よろしくお願いいたします。

ogac.mantenka@gmail.com

大阪大学陸上競技部 OB 主務 松村侑海

その他

阪大陸上部公式ホームページについて

試合結果、最新の部員名簿などは公式ホームページにも掲載しております。公式ホームページの BBS では部員が七帝戦への思い等を書き込んで、盛り上がっていますのでよろしければご覧ください。また、OB 掲示板も開設しております。情報交換の場として大いにご活用ください。

公式ホームページ <http://www.osaka-u-athlete-club.com/>

OB 掲示板 <http://hidebbs.net/bbs/mantenkai>

記載内容についてのご意見、また配信停止をご希望等ありましたら

徳永卓朗（理・数3）manten.letter2010@gmail.com

までご連絡ください。

満天 LETTER 2011 年七帝戦展望号

発行 大阪大学陸上競技部

大阪府豊中市待兼山 1-1

発行日 平成 23 年 7 月 21 日

編集責任者 徳永 卓朗 細田 真広